

2025年度 探究型カリキュラム各授業学習目標・授業目標 科目名：2年生活文化

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として ＜オナーシップ/一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL型/アクション＞
3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. コミュニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞
5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事労働の意義と課題を自らの言葉で説明することができる。 ・家事労働を協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むためにはたらきとして実践したり提案したりすることができる。 <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事労働に関する知識、実際の関わりを通して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事労働を見つめなおす中から課題を見つけ、研究・調査をしながら課題を解決しようとしている。 ・家事労働に関し、いつの時代にも生かすことのできる知識と技術を身に付けるにはどうしたらよいかを考え、もって社会全体の生活を向上させようとしている。 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働研究の潮流を理解し、自らの言葉で説明することができる。 ② 家事労働に関する情報収集および実際の関わりを通して課題をとらえ、生活主体としての意識をもって研究・調査に向かうことができる。 <p>【思考・判断・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働の意義を考えたり、日常生活における自分の生活と照らし合わせたりしながら、家事労働がもつ社会的な課題を洗い出すことができる。 ② 家事労働に関する知識、実際の関わりを通して具体的な課題を設定し、その解決に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家事労働の現状を科学的な視点から捉える力を養おうとしている。 ② 家事労働にかかわる課題提起を、自身の生活、生き方に関する考えおよび、社会的視点を持ってしようとしている。 	

授業日	4/15(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】－ 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・ (全体オリエンテーション) 探求授業において身につけるべき力について理解することができる ・ 家事労働を俯瞰することができる		
時間 授業内容	5 時間目	・ 全体オリエンテーション	
	6 時間目	・ 授業ガイダンス、家事労働を俯瞰する	
評価方法	2 年間の取り組みを通し目指すべき到達点を理解することができたか、家事労働をイメージすることができたか「学びの記録」によって評価する。		
宿題指示	なし		

授業日	4/22(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】④ ----- 本時の具体的な目標 ・ 家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ※「生活の営みに係る見方、考え方」とは、家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること。 ・ 得た知識をもとに自分の考えを構想したり表現したりするなどしてより深い理解に昇華させることができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・ 用語説明 ・ 得た知識を教科書等を用いて補強し、自らの言葉でまとめる ・ 家事労働に付随する問題を羅列する	
評価方法	・ 「生活の営みに係る見方、考え方」を用語として理解することができたか ・ 自主的に知識を得ようとしているか、また、その知識を自らの言葉に咀嚼して表すことができたか		
宿題指示	学びの記録の記入		

授業日	4/30(木)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・ 家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・ 家事労働に付随する課題を理由や根拠を示しながら提示することができる		
時間 授業内容	5 時間目	・ “家事労働に付随する問題”だと考える事柄についての意見共有、レポート作成	
	6 時間目	・ レポートの書き方を知る 参考文献：慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員『学生による学生のためのダメレポート脱出法』、慶應義塾大学出版会、2015、13-23 頁	
評価方法	・ 作成したレポートが客観的な根拠に基づいて論理的に示されているか、自らで判断することができたか		
宿題指示	なし		

授業日	5/13(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・家事労働に付随する課題を理由や根拠を示しながら提示することができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・「新書」「文献」「論文」「統計」「辞典」「雑誌」「WEB」「新聞」などのリソースを用い、家事労働に付随する課題を見つける ・見つけた課題を客観的・論理的な文章にまとめる	
評価方法	・根拠や事実に基づき、説得力のある説明をすることができたか		
宿題指示	なし		

授業日	5/27(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① ----- 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・資料の横断的な活用を通じて家事労働に係る見方、考え方を深めることができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・前週に引き続き、書籍等のリソースを用い家事労働に付随する課題を見つける ・収集した情報から新たな課題を導く	
評価方法	・根拠や事実に基づき、説得力のある説明をすることができたか ・家事労働に関する課題を連鎖的に発展させることができたか		
宿題指示	情報カードの作成		

授業日	6/3(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】— ----- 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・親の役割を認識することができる		
時間 授業内容	5, 6 時間目	・「たまごちゃん」をお世話する（準備） 保護者役の生徒（2～3人組）が協力して赤ちゃんにみたてた「たまごちゃん」を1週間育てる。「たまごちゃん」は学校に登校し教室に入る前に家庭科室に設定した「保育園」に預け、放課後帰宅する前に迎えに行く。生徒と保育士（教員）は育児日誌を毎日作成する。 ①お見合い（仲間の価値観を知る） ②パートナーとの子育て、シングルでの子育てなど子育ての方法を設定する。 パートナーは異性・同性を問わない。 ③「たまごちゃん」に顔を描き、名前をつけて出生届を出す。命名書の作成。 ④ お世話の役割分担を決める。	
評価方法	・「たまごちゃん」のお世話を責任をもってすることができたか ・親の役割について考えを深めることができたか		
宿題指示	「たまごちゃん」のお世話		

授業日	6/10(火)	1 学期授業回数	7回目 / 全9回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】— 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・幼児との触れ合いやかかわり方の工夫ができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	「たまごちゃん」のお世話をする（振り返り） ・幼児食（1歳児を想定）の試食 前日の“登園時”に補食として「たまごちゃん」のおやつを持参させていた。 その評価と実食をした。 ・「たまごちゃん」の成長記録を完成させる	
評価方法	・「たまごちゃん」のお世話を責任をもってすることができたか ・こどもを育てることについて考えを深め、言語化することができたか		
宿題指示	情報カードの作成（継続）		

授業日	6/17(火)	1 学期授業回数	8回目 / 全9回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・資料から得た知識、実習から得た気づきをもとに家事労働に関する課題を整理し、自分なりの「問い」を創り出すことができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・知識や気づきをもとに、家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出す ・発表準備 —テーマ— 家事労働に対する「見方」は1学期当初からどのように変化したか、学習後の今、抱く「問い」は何か	
評価方法	・家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出すことができたか ・家事労働に対する「見方」の変化を、理由や根拠を示しながら示すことができたか（次週の発表を含め評価）		
宿題指示	情報カードの作成（継続）、プレゼンテーション準備		

授業日	6/24(火)	1 学期授業回数	9回目 / 全9回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①, ② 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・家事労働を「生活の営みに係る見方、考え方」をもって捉えることができる ・自らの考えを聞き手（仲間）がわかる言葉、スライドで示すことができる ・仲間の発表を評価し、課題を指摘することができる		
時間 授業内容	5,6 時間目	・発表 —テーマ— 家事労働に対する「見方」は1学期当初からどのように変化したか、学習後の今、抱く「問い」は何か	
評価方法	・家事労働に関する自分なりの「問い」を作り出すことができたか ・家事労働に対する「見方」の変化を、理由や根拠を示しながら示すことができたか		
宿題指示	相互評価表の作成		

